



平成 30 年 2 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 へ り オ ス
代 表 者 名 代表取締役社長 兼 CEO 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役 管理領域管掌 石 川 兼
(T E L : 0 3 - 5 7 7 7 - 8 3 0 8)

取締役人事に関するお知らせ

当社は、本日「指名委員会等設置会社への移行及び定款一部変更に関するお知らせ」にて開示いたしました通り、平成 30 年 3 月 28 日開催予定の当社第 7 回定時株主総会（以下、本総会といいます。）における承認を前提に、指名委員会等設置会社へ移行いたします。これに伴い、本日開催の取締役会において、移行後の取締役候補者を下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取締役候補者

取締役 鍵本 忠尚
取締役 松田 良成
取締役（社外） マイケル・アルファント
取締役（社外） 成松 淳
取締役 石川 兼
取締役（社外） 樫井 正剛
取締役（社外） グレゴリー・ボンフィリオ
取締役（社外） リチャード・キンケイド
取締役（社外） デイビッド・スミス

(注) 成松淳氏及び樫井正剛氏は現在社外監査役在任中ではありますが、本総会において定款一部変更が承認可決された場合、本総会終結の時をもって任期満了となります。

2. 新任候補者の氏名及び略歴

| 氏 名 | 略 歴 等 | |
|--|--|---|
| グレゴリー・ ボンフィリオ (昭和 27 年 5 月 30 日) | 昭和 61 年 1 月 平成 12 年 6 月 平成 18 年 1 月 平成 23 年 3 月 | Morrison & Foerster, Partner Anthem Venture Partners, General Partner Proteus, LLC., 設立 Managing Partner (現任) Centre for Commercialization of Regenerative Medicine (CCRM) Chairman of the Board (現任) |

| | | |
|--|---|---|
| <p>リチャード・キンケイド (昭和 51 年 11 月 19 日)</p> | <p>平成 12 年 6 月 平成 15 年 1 月 平成 16 年 8 月 平成 23 年 1 月 平成 29 年 8 月</p> | <p>ゴールドマン・サックス証券入社 Speedwell Advisors, Ltd. CFO Nezu Asia Capital Management Limited. 社長兼 COO (現任) Nezu Asia Capital Management (Singapore) Pte. Ltd. CEO 兼 COO Nezu Asia Capital Limited. 社長兼 COO (現任)</p> |
| <p>デイビッド・スミス (昭和 35 年 9 月 9 日)</p> | <p>昭和 58 年 5 月 昭和 59 年 7 月 平成 7 年 3 月 平成 10 年 3 月 平成 12 年 2 月 平成 13 年 7 月 平成 14 年 1 月 平成 19 年 2 月 平成 27 年 3 月</p> | <p>Thrift Drug 入社 The Upjohn Company 入社 Pharmacia & Upjohn, Inc. 入社 Pro-Neuron 入社 Life Technologies 入社 Business Unit Director Claragen, Inc. 入社 Vice President Corporate Development Cambrex Corporation 入社 Vice President Cell Therapy Services Lonza Group 入社 Head of Cell Therapy 同社 Vice President, Global Business Development, Emerging Technologies (現任)</p> |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には特別な利害関係はありません。
2. グレゴリー・ボンフィリオ氏、リチャード・キンケイド氏及びデイビッド・スミス氏は、社外取締役候補者であります。
3. グレゴリー・ボンフィリオ氏、リチャード・キンケイド氏及びデイビッド・スミス氏は、東京証券取引所の定める独立役員の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出る予定です。なお、デイビッド・スミス氏は Lonza Group の Vice President であり、当社と同社との間には細胞製造に関する取引がありますが、その年間取引額及び連結売上高に占める割合は、当社及び同社においても僅少であり、同氏の独立性に影響を与えるものではないと判断しております。

以上